

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（4月）

留学先：The University of Findlay

氏名： 近藤 芙実歩

みなさんこんにちは。フィンドレー大学に留学中の近藤です。月日が経つのは本当に早いもので、つい今回で滞在中のレポートは最後になります。イベントで盛りだくさんだった3月に打って変わって、4月は勉強色の強い1ヶ月となりました。4月の報告書ではありますが、アメリカには5月12日までおりましたので、それまでの間に経験させていただいた学内外での様々な出来事を掻い摘んで紹介していきたいと思います。

● 授業

✓ マーケティングとマクロ経済学

今期私が受けている授業のうち、これまで4つの授業についてお伝えして来ましたが、今回は残りの2つ、マーケティングと経済学についてです。教育を学ぶ私がなぜこの2つの授業を取ったかという、教育とは少し離れた分野にも知見を広げたいという思いがあったからです。実際に授業を受けてみて、内容や教授法はもちろんのこと、学生のタイプも大きく異なり、大変刺激的な経験となりました。どの授業でも度々日本の経済政策や企業について取り上げられることもあり、世界経済ではまだまだ日本は重要なポジションにいるのだということを改めて実感しました。

● イースター（復活祭）



4月前半はレポートの締め切りに追われており、ちょうどイースターというキリスト教の祝日で4連休を迎えた時にレポートも無事終わることができました。このイースターというイベントに伴って、日頃からお世話になっている教授のお宅に招いていただき、モチーフである **Easter Egg** の色つけを楽しみました。この教授のお子さんが実は教育の授業で担当していた子どもだということから、教授お宅には4月末にもう一度お邪魔し、その子との再会を果たしました。その時は一緒にスモア(たき火でマシュマロを温めてチョコとクッキーでサンドするスイーツ)作りを楽しみました。スモアはアメリカ文化の一つでもあるので本物を体験できて良かったです。

● 学内美術展覧会

4月の半ばには、**Student Art Show** というフィンドレー大学の学生ならだれでも応募できる美術展覧会の表彰式が開催されました。私は幸運なことに、応募した写真のうちの1つが展覧会に飾られることになり、表彰式にも出席させていただくことが出来ました。そしてなんと、

驚くことにわたしはフィルム写真の部門で1位の賞をいただくことが出来ました。そして、自身が被写体をした友人の写真が展覧会全体での最優秀賞に選ばれました。その写真を撮った子は私の写真の被写体でもあり、この留学期間中とても仲良くさせていただいた子だったので、2人の友情の有終の美でもあるかのような形で受賞することができ、何とも言えない喜びを感じました。私が写った写真は現在学内のカフェに飾られているということで、恥ずかしさも少しありますが、留学していた証のようなものを残せたという嬉しさも感じております。



● 日本語プログラムお別れ会・FUKUVI USA 表敬訪問

4月末にはお世話になった日本語プログラム(下部写真左)主催の交換留学生お別れ会に参加し、5月の頭には福井県に本社を置くフクビ化学工業のアメリカ本社 FUKUVI USA(下部写真右)に表敬訪問させていただきました。どちらの機会においても、9か月間の留学を振り返ったプレゼンテーションをする場がありました。それに加えお別れ会では、最後のソーラン節の披露をしたりそこでの友人との対面が最後だったり、やっとではありますが、徐々に「最後」を意識するようになってきた時期でもありました。FUKUVI USA 訪問では、工場の見学や、駐在されている日本からの社員さんにお話をお伺いすることができ、とても貴重な経験となりました。社内には現地の社員さんも含めてアットホームな雰囲気があり、このような素敵な環境で仕事が出来たら楽しいだろうなと思いました。



● エピローグー 帰国後

帰国して一週間後、フィンドレー大学教育学部の学生4名と教授2名との再会を果たしました。3週間の教育系プログラムで福井大学に滞在する彼女たちとは、冬学期が始まってから月に何度かのペースでミーティングをしていました。そんな彼女たちとまずは京都で観光を楽しみ、いよいよ





よ自分の故郷福井で会った時は何とも不思議な感覚でした。歓迎会や附属義務教育学校への同行、ホームステイの受入れ等で彼女たちとさらに関わることができ、フィンドレーでお世話になった恩返しを少なからずすることが出来たのでよかったです。また、6月末には別のプログラムで日本に来るフィンドレー大学のグループと再会を果たします。このような形で、出来る限りこれからもフィンドレーで築いた繋がり大切にしていきたいです。このような一生ものの経験・出会いを与えてくれたすべての人に心より感謝しております。9か月間、無事に留学を満ちたものにしていくことが出来て本当に幸せです。この月例報告書もこれで最後となります。今までご愛読いただき誠にありがとうございました。これからも近藤芙実歩は、この留学以上に充実した毎日を送るべく、1日1日を大切に歩んで参りたいと思います。応援よろしく願いいたします！



6月に日本に来る友人と卒業式にて



大好きな写真の先生・仲間と大好きなレストランで



4月末、友人の農場を訪問



帰国直後の一枚